

地域宮農で農業振興を目指す

吉野・野津に農事組合法人設立

3月2日に農事組合法人「アグリ吉野」、3月7日に同法人「野津南」の設立総会が開催されました。

これは、組合員の農地を集約し、農業施設・機械の共同利用、農作業の受託などにより、農作業の効率化、農業経営安定などを目指すもので、本町では初めての設立となります。

J A やつしろひかわ管農センターで開催されたアグリ吉野の設立総会では、組合員24人をはじめ、関係者約40人が出席。本田隆雄代表理事（高塚）は「吉野地区の豊富な農産物を活用した事業を展開し、地域農業の発展・振興に寄与したい」とあいさつされました。



▲「アグリ吉野」組合員の皆さん

空手少年が健闘

空手競技で3位入賞

3月6日、益城町総合体育館において、第8回菅原会館九州地区少年部SABA K I T O ナメント大会が開催され、型競技の部（3・4年生）で竹山尚杜くん（宮原小4年・新村南）、組手競技の部（1・2年）で奥村隆斗くん（宮原小2年・桜ヶ丘）がそれぞれ3位の成績を収めました。

【入賞者のコメント】
奥村隆斗くん「今回は2回目の出場で、トロフィーが欲しかったので頑張りました。次は優勝を取るために、もっと頑張りたいです」

竹山尚杜くん「家でもたくさん稽古したので3位に入れてうれしかったです。今度は組手でも勝ちたいです」



▲竹山尚杜くん(左)、奥村隆斗くん(右)

和鹿島いちごを味わって

町内小中学校にイチゴ贈呈

3月11日、八代地域農業協同組合和鹿島いちご部会から町内小中学校にイチゴ2320個が贈呈されました。

これは、同部会が子どもたちに地元特産の「和鹿島いちご」に親しんでもらおうと、毎年行っているもので、役場庁議室で行われた贈呈式では、前田洋志部会長（中網道）から藤本町長に、真っ赤に色付いたイチゴが手渡されました。

今年のイチゴは糖度も高く、良質な出来となっているそうで、前田部会長は「おいしいイチゴを子どもたちに届けることができました。地元の味覚を知って欲しい」と話されました。



▲おいしいイチゴを子どもたちへ

義務教育終え新たな道へ

町内中学校で卒業式

3月11日、町内中学校において、卒業証書授与式が行われました。

氷川中学校では、保護者や在校生が見守る中、卒業生一人一人に中島校長から、義務教育修了の証である卒業証書が手渡されました。

続けて「町の人たちの愛情、そして、自分たちが持てる全てのを、皆さんの成長のために捧げてこられたご家族の慈しみに気付いてほしい。今度は、これから皆さんが会える人たちに愛情と慈しみを与えられる人になってください」とはなむけの言葉が贈られ、たくましく成長した卒業生たちは、思い出が残る学び舎を巣立って行きました。



▲恩師の見守る中、卒業証書を授与

大人も子どももあいさつを交わす町 「あいさつができる氷川っ子」を育てるために 毎月15日は「あいさつ運動」一斉行動の日

氷川町では、全学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度を設けた学校）に指定しており、地域と学校が連携・協働して子どもたちを見守り・育てる「地域とともにある学校づくり」を目指しています。

その一環として、平成26年10月より、両中学校区で子どもたちが安心して暮らせる明るい町づくりを目的とした「あいさつ運動」に取り組んでまいりました。

あいさつ運動のつらなる充実を目指して

この取り組みをさらに充実させ「人と人をつなぐ、あいさつができる 氷川っ子」を育てるため、4月から毎月15日（休日の場合はその直前の登校日）を「あいさつ運動一斉行動の日」とし、学校・家庭・地域・行政が一体となった取り組みを推進していくことになりました。

町を挙げてのあいさつ運動を協力要請しました

3月14日、藤本町長に対し、全学校の学校運営協議会長・町PTA連絡協議会会長・町校長会長・教育長はじめ教育委員会職員により、町を挙げてのあいさつ運動への協力要請を行いました。

この運動の趣旨を伝えるとともに意見を交換し、藤本町長は「とても良い取り組みだと思います。『人に出会ったらきちんとあいさつを交わす』ことは基本的なこと。地域と行政が一体となって、この取り組みを進めて行きましょう」と述べました。

また、3月23日には、区長会議にて時間を頂き、各地区の区長へ取り組みのお願いをさせていただきました。

あいさつは人と人をつなぎます。地域ぐるみで子どもたちを見守る環境をつくりましょう。



学校・家庭・地域・行政 総ぐるみのあいさつ運動にご協力を！ 通学路に出て登校する子どもたちに声掛けをお願いします

毎月15日 7時30分～8時
（15日が土日・祝日の場合は直前の登校日）

登校時に難しい場合は下校の時間帯でも結構です。
みんながあいさつを交わすまち
子どもたちの見守りを地域全体で行うまち
子どもたちが安心して暮らせるまち をつくりましょう。

おはようございます

気を付けて

いってらっしゃい

おかえりなさい

